

テーマ：自分たちの視点で「日本文化らしさ」「自文化らしさ」を考えてみよう。

レベル：3

### <場面状況>

学習者それぞれが興味を持っている日本文化の事象について調べ、その結果自分が発見したこと、感じたこと、考えたこと（「自分の目から見た日本文化らしさ」）を発表してもらおう。

⇒学期前半の最後にグループプレゼンテーション、後半の最後に個人プレゼンテーションを課した。

### <活動の流れ>

#### ●学期前半●

##### 1. ブレーンストーミング

「日本文化」と聞いて頭の中に浮かぶものについてブレーンストーミングを行う。頭の中に浮かんだものを付箋紙に書き出し、4～5人のグループに分かれて付箋紙に書かれたものの整理を行う。グループ毎にブレーンストーミングの結果を発表し、自分たちの頭の中にある「日本文化」のイメージを共有する。

##### 2. グループ作り⇒ テーマについての問題提起 ⇒ 発表に向けて準備

1. でまとめられた「日本文化」の側面から、同じ事象に興味を持っている学習者でグループを作り、そのグループでテーマを決めて発表準備を進める。準備過程で、PC教室を使ってテーマに関する事柄を調べる、地域ボランティアの方との交流機会を持ち、自分たちのテーマについて意見を求める、などの活動も行う。

##### 3. 発表 ⇒ 振り返り

グループ毎にクラス内で発表を行い、クラス内で質疑応答を行う。都合が整えば、地域ボランティアの方、教職員にも発表を聴きにきてもらう。発表はビデオで撮影し、中間試験の際にそのビデオを学習者に見させて振り返りと自己評価を行う。

#### ●学期後半●

##### 1. 個人プレゼンテーションのテーマを決める

テーマを決めるにあたり、3つの方向性を示す。（いずれかを選んで自分のテーマを決める）「

①前半のグループプレゼンテーションで扱ったテーマについて、引き続き深めて考えていく。

②前半のプレゼンテーションテーマとは異なった日本文化の事象について調べ、考える。

③日本文化との比較の視点を持って、学習者の「自文化」に関する事象で「自文化らしさ」を考える。

##### 2. 個人でテーマについての問題提起 ⇒ 発表に向け準備

前半と同様、PC教室を使った作業、地域ボランティアの方との交流、またクラス内でも自分のテーマについてのヒヤリングなどを行う。

##### 3. 発表 ⇒ 振り返り

クラス内で一人一人発表を行い、クラス内で質疑応答を行う。都合が整えば、地域ボランティアの方、教職員にも発表を聴きにきてもらう。発表はビデオで撮影し、期末試験の際にそのビデオを学習者に見させて振り返りと自己評価を行う。

#### ●「言語知識」として学期前半に「擬音語・擬態語」、学期後半に「ことわざ」を扱う。

テーマ名:自分たちの視点で「日本文化らしさ」「自文化らしさ」を考えてみよう。

|      | 言語領域  | 文化領域   | グローバル社会領域  |
|------|---|--|--|
| わかる  | <p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語に多いとされている「擬音語・擬態語」について知る。</li> <li>日本のことわざを知る。同じ場面で使われることわざで、母国のことわざとは表現方法が違うことに気づく。</li> </ul>   | <p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業を通し、様々な日本文化の事象について知る。</li> <li>日本の文化事象について調べ、発表する過程で新たな発見をしたり、自文化との違いに気づく。</li> </ul>   | <p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の中でのクラスメート(多国籍)とのディスカッション、地域の方(日本語母語話者)との交流を通し、文化の違いによる考え方や価値観の違いに気づく。また異文化を理解するとはどういうことか、について考えるようになる。</li> </ul>  |
| できる  | <p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語で自分が調べたいテーマについて説明し、自分のテーマに対する相手からの情報や意見が理解できる。</li> <li>母語話者である地域ボランティアの方との対話の中で、自分の伝えたい内容を理解してもらうため、また相手が話す内容を理解するためのコミュニケーション・ストラテジーを使うことができる。</li> </ul> | <p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学期を通し、日本文化の背景にある考え方や価値観について考えたり、自文化およびクラスメートの出身国との共通点や相違点について考える。⇒考えたことをクラスメートや地域の方に伝える。</li> </ul>                                 | <p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異なる文化背景を持ったクラスメートとグループ活動を行い、意見交換をしながらグループ発表に向けて自分の役割を果たす。</li> <li>上記のグループ活動の中、またグループ発表、個人発表を通し、相手に自分の意見や考えをわかりやすく伝えるための工夫を考える。</li> <li>自分のテーマについて調べる過程で、ICTを有効に使うことができる。</li> </ul> |
| つながる | <p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ活動において、日本語を使ってクラスメートと話し、議論しながら発表に向けて自分たちのテーマについてまとめていくことができる。</li> <li>日本語を使って地域の方と交流することができる。</li> </ul>  | <p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異なる文化背景を持ったクラスメート、地域ボランティアの方との交流、対話を通し、お互いの考え方や価値観を認め合うことができる。</li> </ul>   | <p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちが調べ、考えたことを地域の方や学内の教職員に発表して伝える。</li> </ul>   |
| 三連続  | <p>シナリオ中の該当する箇所<br/>(関心・意欲・態度)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が興味を持っている事象について調べ、深めていく。(学習意欲)</li> <li>自分たちのプレゼンテーションのビデオを観て振り返ることが、「自分の日本語」に対する気づきを促し、また人に自分の考えを伝えるための「コミュニケーションスキル」を考えるきっかけとなる。(学習スタイル)</li> </ul> |  |
|      | <p>シナリオ中の該当する箇所<br/>(既習内容・経験、他教科の内容とつながる)</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに学習してきた日本語。(既習内容)</li> <li>来日してからの日本文化に関わった経験。(経験)</li> <li>異文化コミュニケーション。(他教科)</li> </ul>   |  |
|      | <p>シナリオ中の該当する箇所<br/>(教室外の人・モノ・情報とつながる)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちのテーマに関わるウェブサイトを検索する。</li> <li>地域の方と交流する。</li> </ul>   |  |